

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月20日		記入者		連絡先	2632
平成18年度部名	保健福祉部		課名	介護予防推進室		課長名 佐藤浩三
平成19年度部名	保険高齢部		課名	介護予防推進課		課長名 佐藤浩三
事務事業名	生きがいデイサービス事業					
予算上の事務事業名	生きがいデイサービス事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造					
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
相模原市高齢者生きがいデイサービス事業実施要綱						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	第3期高齢者保健福祉計画			市内のデイサービスセンターにおいて、生きがい活動及び昼食などのサービスを提供する。		
計画年次	平成18	年度～	平成20	年度		
4 事業形態の区分	サービス提供			5 事業開始年度	平成13年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
生きがい活動等のサービス提供により、社会的孤立感の解消や介護予防を図る。				家に閉じこもりがちな60歳以上の者		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
市内のデイサービスセンターを運営する社会福祉法人等に委託し、年間を通じ、随時、利用対象者に生きがい活動や昼食などのサービス提供を行った。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
介護保険サービスにおける通所介護						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	4,497	6,498	6,086	10,092	10,092	
一般財源	4,497	6,498	6,086	10,092	10,092	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	404	403	403	403	403	
事業コスト合計	4,901	6,901	6,489	10,495	10,495	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	生きがいデイサービス事業			対象名称 と単位	利用者数(人)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	4,901	6,901	6,489	10,495	10,495	
対象数	1,499	2,166	2,061	4,762	4,999	
単位あたり経費(円)	3,270	3,186	3,148	2,204	2,099	
前年度比		0.97	0.99	0.70	0.95	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	サービス利用回数の対前年度比（％）	指標式と指標の説明	本年度延利用回数 / 前年度延利用回数 × 100 利用回数の伸び率の状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	103.7	144.5	95.7		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	103.7	144.5	95.7		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	サービス利用回数の対前年度比（％）	指標式と指標の説明	本年度延利用回数 / 前年度延利用回数 × 100 利用回数の伸び率の状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	103.7	144.5	95.7		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	103.7	144.5	95.7		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			本事業は、高齢者の孤独感の解消と介護予防を解消することを目的としているが、今後、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加していく中では、事業を継続していくべきものと考えられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
本事業は、デイサービスセンターを運営する社会福祉法人等へ委託しているが、高齢者ができるだけ身近なところでサービスを受用できるよう、委託事業者の拡大を図る必要がある。			介護保険サービスにおける通所介護との整合性を図ることが課題である。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			成果を検証し、より効果的な事業の実施を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			